

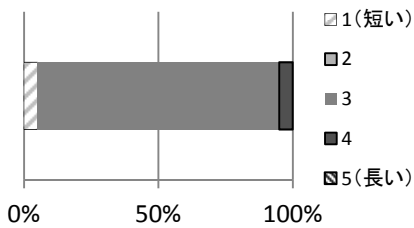
出張医学教育FD(松本市立病院)

【日時】平成29年 7月27日(水)

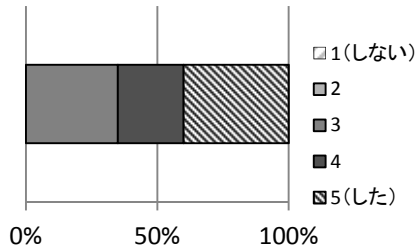
【参加人数】21名

【内容】アセスメント(評価)の仕方

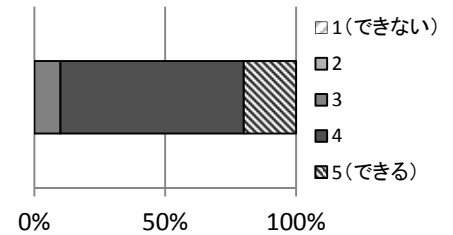
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

よく理解できたこと	あまり理解できなかったこと	ご意見
知識と臨床現場の融合。経験の積み重ね。	デブリーフィングの具体的な方法。	ちょっとした工夫がレベルを上げる。
ブリーフィング。意識付けをすることで見方が変わる。集中力が増す。一般病院での教育に関する役割→行動レポートが重要であることがわかった。	やらせて良いこと、良くないこと。	自分の科に学生が来ないのに、なぜこのFDが必要なのか。
学生指導の要点。		
学生に課題を与えることの大切さ。		
ブリーフィングとデブリーフィングの重要さの再認識した。		
具体的な目的・問題を示すことの大切さ。		
ブリーフィングとデブリーフィング。ポートフォリオ。		
指導の仕方。		
学生教育の目的が再確認できた。		
学生への動機づけの方法。レポートの意義。		
ブリーフィングとデブリーフィングについて、外来見学の前の一言を言おうと思います。行動レポートの作成の目的。		
大学がやりたいことが理解できた。		
学生さんの説明、評価。コツをつかんでやれるような気がします。		
ブリーフィング→体験→デブリーフィングの必要性。		
ただ漠然とやるのではなく、何かにフォーカスさせることが大切。		
事前に何をみるべきかを示唆する。		
学生にさせることが具体的でわかりやすかった。		